

ICT利活用 東北サミット in 気仙沼 実施概要報告

平成23年3月11日に発生した未曾有の複合的大災害である東日本大震災発生から2年余りが経過し、被災した自治体や企業などが一日も早い復興に向け尽力している状況にある中、被災地域やその近隣地域が抱える課題や現況など共通するテーマについての講演や被災自治体のICTを活用した先進的システムの導入事例の情報が求められているものと分析し、これら情報提供・紹介を実施することで、被災地域からICTの利活用を学び今後のICT利活用推進に資することを目的として宮城県気仙沼市で開催いたしました。

1. 開催日程 2013年10月4日、10月5日
2. 開催場所 宮城県気仙沼市 ホテル一景閣（コンベンションホール併設の間）
3. 主催/協力 [主催] 一般財団法人全国地域情報化推進協会、総務省東北総合通信局、東北情報通信懇談会
[協力] 宮城県気仙沼市
4. 参加者 延べ136名（1日目：93名、2日目：43名）
5. 実施内容
 - 講演 「震災復興に果たすICT・メディアの役割」
一般財団法人全国地域情報化推進協会 ICT地域イノベーション委員会 委員長
早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授 三友 仁志 氏
 - 説明 「ICTを活用した復興街づくり」
総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 地方情報化推進室
室長 磯 寿生 氏
 - 説明 「情報通信基盤の整備について」
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 高度通信網振興課
高度通信網推進官 松田 和男 氏
 - 特別講演 「被災直後の電話を即時復旧できる可搬型ICT基盤の研究開発」
NTT未来ねっと研究所 レジリエントネットワーク戦略担当
主任研究員 小田部 悟士 氏
 - 事例紹介1 「災害に強い情報連携システム構築事業」
宮城県色麻町 政策推進室 次長 山田 誠一 氏
 - 事例紹介2 「V-Lowマルチメディア放送ときずな再生・強化事業」
福島県喜多方市役所 市民部生活環境課 主査 小林 修 氏
 - 事例紹介3 「気仙沼市災害情報システム」
宮城県気仙沼市役所 総務部危機管理課 主査 三浦 稔 氏



<開催場所のホテル一景閣>



<講演・事例紹介の様子>

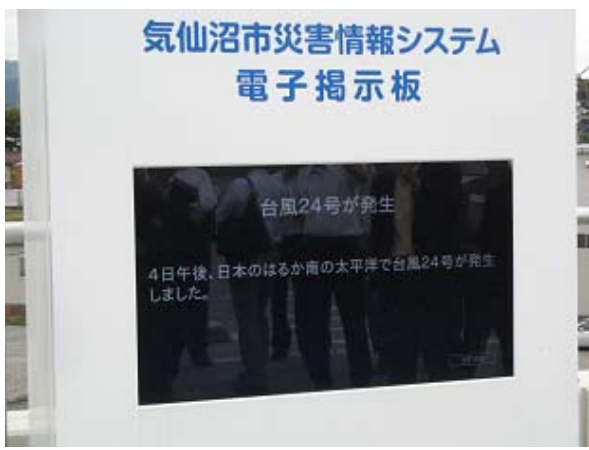
「ICT利活用 東北サミット in 気仙沼」参加者一覧

＜平成25年10月4日(金) 講演・事例紹介(93名)＞

大区分	人数	小区分	人数
総務省	12	本省	3
		東海総合通信局	1
		東北総合通信局	8
自治体	18	青森県	2
		岩手県	1
		宮城県	1
		秋田県潟上市	1
		岩手県釜石市	2
		福島県大熊町	1
		福島県喜多方市	1
		宮城県気仙沼市	6
		宮城県色麻町	1
		宮城県登米市	1
宮城県南三陸町	1		
企業	55	NEC ネットエスアイ株式会社	4
		NEC ネットイノベーション株式会社	1
		株式会社 NHK アイテック	2
		NTT データ東北	3
		NTT データマネジメントサービス株式会社	1
		京セラ コミュニケーションシステム株式会社	1
		KDDI 株式会社	3
		気仙沼ケーブルテレビ	1
		三陸新報社	1
		JTT プランニング東北株式会社	2
		住友電気工業株式会社	1
		株式会社 地域・技術経営総合研究所	1
		株式会社 TTK	1
		東北インテリジェント通信株式会社	1
		株式会社 ナカノアイシステム	1
		西日本電信電話株式会社	2
		日本電気株式会社	4
		日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所	1
		ネットワークシステムズ株式会社	2
		株式会社 パスコ	2
		パナソニック株式会社	2
		パナソニックシステムネットワークス株式会社	3
		株式会社 BSN アイネット	1
		東日本電信電話株式会社	3
		株式会社 日立システムズ	2
		株式会社 日立製作所	2
		富士通株式会社	3
		株式会社 フジクラ	1
		株式会社 ブロードネットマックス	1
		ミツイワ株式会社	1
株式会社 宮城テレビ放送	1		
委員会	8	委員長	1
		主査	1
		アドバイザー	2
		APPLIC・事務局	4
合計			93

現地視察<第1部> 被災地域のICT利活用「気仙沼市災害情報システム視察」

		
<p>無線(FWA)アンテナ、監視カメラ、太陽光パネル(安波山にて)</p>	<p>無線(FWA)アンテナと監視カメラ(拡大写真) (安波山にて)</p>	<p>停電時に備えて設置されている太陽光発電パネル(安波山にて)</p>
		
<p>現地視察風景(1) (安波山にて)</p>	<p>現地視察風景(2) (安波山にて)</p>	
		
<p>安波山から望む気仙沼港(内湾[ないわん]地区) 気仙沼漁港周辺には高台があり、多くの人々が避難した場所である。復興が進み、近隣にはお魚市場や復興屋台村などが営業している。</p>	<p>安波山から望む気仙沼港(鹿折[ししおり]地区) 鹿折地区は、津波とともに火災で大半の家屋が焼失するなど被害を受けた地域である。嵩上げが行われ整地が進められていた。</p>	



気仙沼魚市場の屋上に設置された電子掲示板(デジタルサイネージ)
 平時は、ニュースや天気予報をはじめ、気仙沼湾などのライブ映像が映し出されている。このデジタルサイネージの画面にはタッチパネルが設置されており、タッチ操作によって映像コンテンツを切り替えることができるようになっていた。緊急時は、災害情報システムから情報入力することによって、このデジタルサイネージに災害情報が表示される仕組みになっている。



無線(FWA)アンテナ(安波山)



無線(FWA)アンテナ(気仙沼魚市場屋上)



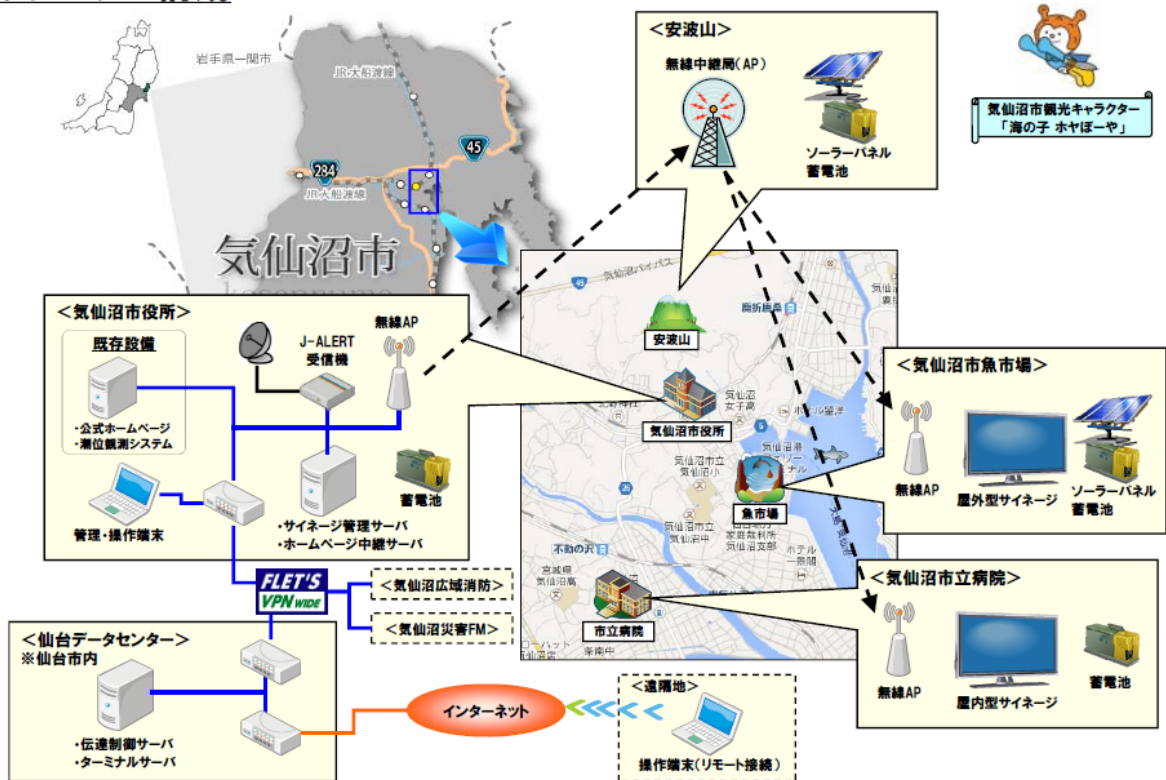
現地視察風景(3) (気仙沼魚市場にて)



現地視察風景(4) (気仙沼魚市場にて)

<説明資料> 「気仙沼市災害情報システム」のシステム構成とデジタルサイネージの利用

1. システム構成

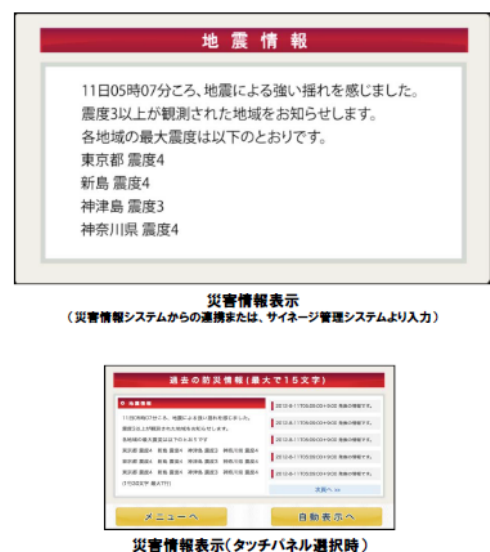


2. デジタルサイネージの利用

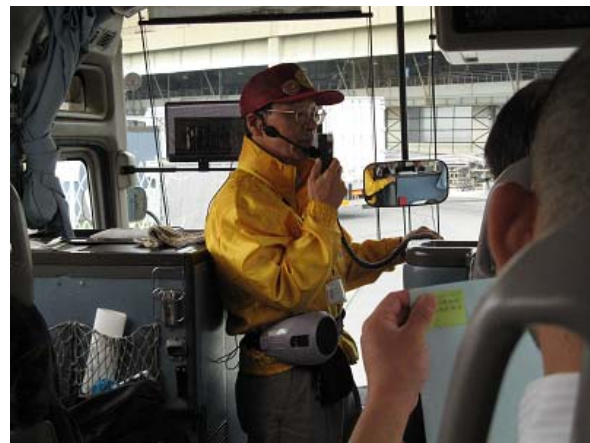
① 通常時の利用(基本コンテンツ表示例)



② 緊急時の利用(災害情報表示例)



現地視察＜第2部＞ 被災地域の状況視察「気仙沼震災復興語り部（内湾～階上視察）」



気仙沼観光コンベンション協会 橋本事務局長に同行していただき東日本大震災の被害状況や復興状況についてご説明をお聞きました。(左上の写真)

右上の建物は、気仙沼湾(気仙沼市朝日町)に面した国の合同庁舎。大津波が2階部分まで押し寄せた。(矢印は、東日本大震災の時の津波の高さを示す標識。)当時は、周辺の住民らが避難。市指定の避難場所ではなかったために食料や物資などはほとんど備蓄されていなかったそうです。



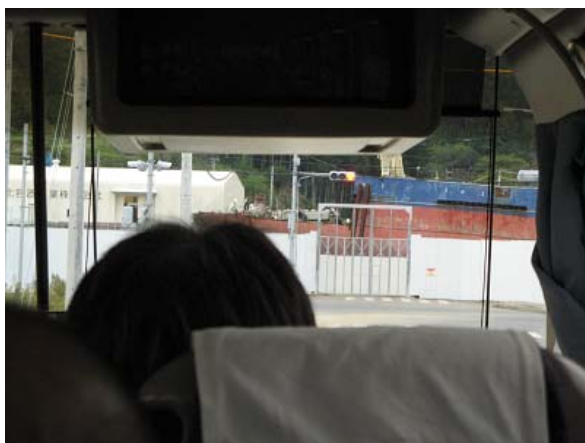
(岩井崎) 東日本大震災の大津波は、11メートルを超えて到来。大津波は、松の木の高さを超えていたそうです。大津波は、岩井崎海岸に上陸した後、街に向かって大きな被害をもたらした。



(岩井崎) 銅像は、津波に耐え、太平洋を望む「第9代横綱・秀ノ山雷五郎像」(左上の写真)。龍の形をした被災松(右上の写真)。



(リアスアーク美術館) 東日本大震災の大津波は、気仙沼市の沿岸部地域に甚大な被害をもたらした。リアスアーク美術館には、東日本大震災の記録写真や被災品が展示されていた。併せて過去の津波災害の歴史等が展示されていた。展示されているものは3月11日の発災からこれまでに学芸員の方が撮影した写真や収集した被災品であることを係員の方からお聞きました。気仙沼市は、その昔にも津波被害をうけていることや東日本大震災の大津波に関する被害などの知見を深めることができました。



(共徳丸) 東日本大震災の津波で気仙沼市の鹿折(ししおり)地区に打ち上げられた漁船「第18共徳丸」(330トン)。共徳丸は、点検のために東日本大震災の3日前に気仙沼港に入港して被災した。2013年9月9日から解体が始まり、視察当日は、撤去工事中のため、少し離れた場所から視察を行った。解体が進み既に船上部分はなくなっていた。



東日本大震災発生から2年半が経過し、重機などによって瓦礫などが撤去されて更地になっている鹿折(ししおり)地区の様子。以前は、この場所に生活の場があったのである(左上の写真)。気仙沼漁港近くの建屋には、気仙沼市マスコット「ほやボーヤ」と到達した大津波の記録が示されていた。(右上の写真)

「ICT利活用 東北サミット in 気仙沼」参加者一覧

＜平成25年10月5日(土) 現地視察(43名)＞

大区分	人数	小区分	人数
総務省	8	本省	2
		東海総合通信局	1
		東北総合通信局	5
自治体	6	青森県	2
		福島県喜多方市	1
		宮城県気仙沼市	2
		宮城県色麻町	1
企業	19	NEC ネットエスアイ株式会社	2
		NTT データマネジメントサービス株式会社	1
		京セラ コミュニケーションシステム株式会社	1
		住友電気工業株式会社	1
		株式会社 地域・技術経営総合研究所	1
		西日本電信電話株式会社	2
		日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所	1
		パナソニックシステムネットワークス株式会社	2
		東日本電信電話株式会社	3
		株式会社 日立製作所	1
		富士通株式会社	3
		株式会社 ブロードネットマックス	1
		ミツイワ株式会社	1
語り部	1	気仙沼観光コンベンション協会	1
委員会	8	委員長	1
		主査	1
		アドバイザー	2
		APPLIC・事務局	4
合計			43